



「多文化な子ども」を地域で一緒に育もう！  
～ひとりひとりが自分らしく輝くために～



現在、定住外国人や日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒の増加に伴い、学校に通う子ども達や保護者の多様化が進んでいます。言葉や文化・習慣のちがいや、話しかけるきっかけがないことなどから、地域活動に参加したくても、参加出来ないこともあります。

当事者から直接話を聞くことで、文化や習慣の多様性に気づき、「多文化な子ども」たちが自分らしく輝ける社会について一緒に考えましょう！

【対象】 <先着8団体>

大阪市内で活動するグループや団体・企業など（20名程度まで）

例）高校・専門学校・大学の授業、課外活動、クラブ等/P T A

学校関係者・指導者/人権啓発推進員等/N P O、市民活動グループ等

※会場の確保と準備は応募団体をお願いしております。

【参加費】 無料

【実施時期】 2010年9月中旬～2月

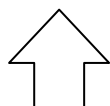
【プログラム】 プログラム①～③の中から、希望プログラムをひとつ選んでください。

プログラム①	「外国人保護者の体験談から学ぶ多文化共生」 ゲストスピーカー：松本テレサさん（スペイン語通訳・翻訳者） 日本で子育て経験を持つ保護者に話を聞き、『子育て』という身近な事柄を通して、人権課題としての認識を深める。
プログラム②	「外国人の子どもの体験談から学ぶ多文化共生」 ゲストスピーカー：グタラ・ティスネルさん（大阪大学大学院生） 日本の学校に通っていた外国人の大学院生に自身の経験を話してもらい、学校生活やアイデンティティなど子どもの抱える問題を知る。
プログラム③	「地域で考えよう多文化な子どもと教育」 ゲストスピーカー：坪内好子さん（サタデークラス運営者、元大阪市立中学校教員） 外国人の子どもの支援者が長年支援を行うなかで気付いた課題や現状の全体像を把握し、地域全体で「多文化な子ども」を育むことについて考える。

参加型の講座ですので、すべての講座でディスカッション等のワークショップを行います。

【申込みから実施・終了までの流れ】

- (1) 下記の申込書にご記入の上FAXもしくはメールでお申し込みください。  
 (メールでお申込の際はタイトルに「参加型人権セミナー」と明記願います。)
- ↓
- (2) 日程調整を行い、実施日を確定します。
- ↓
- (3) 当センターと応募団体の代表者で簡単な打合せを行います。
- ↓
- (4) セミナーの実施
- ↓
- (5) 終了後、アンケートにご協力ください。



FAX : 06-6390-7850

E-mail : [osaka@tabunka.jp](mailto:osaka@tabunka.jp)



受講申込書

ふりがな 団体名						
ふりがな ご担当者氏名						
希望講座	<input type="checkbox"/>	プログラム①	『外国人保護者の体験談から学ぶ多文化共生』			
	<input type="checkbox"/>	プログラム②	『外国人の子どもの体験談から学ぶ多文化共生』			
	<input type="checkbox"/>	プログラム③	『地域で考えよう多文化な子どもと教育』			
住所	〒					
TEL				FAX		
E-mail						
実施希望日	第1希望	月	日	第2希望	月	日
	:	~	:	:	~	:
	:		:	:		:
会場	会場名: 住所: 〒					

特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪 (担当者: 田中)

〒532-0011

大阪市淀川区西中島4-6-19 木川ビル5A

TEL : 06-6390-8201 / FAX : 06-6390-7850

E-mail : [tanaka.yuko@tabunka.jp](mailto:tanaka.yuko@tabunka.jp) / URL : <http://www.tabunka.jp/osaka/>